

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森 彩	市確認欄	
専門部会名	第 1 回		
日 時	令和 4 年 4 月 8 日 (金) 14 時 30 分 ～ 16 時 30 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 7 名	市職員 4 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り (企業交流会) ② 部会長・副部会長の選任について ③ 令和 3 年度の就労部会の振り返り ④ 令和 4 年度の就労部会について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 前回の振り返り (企業交流会) 議事録を用いて振り返り 昨年は、就労部会では半年を福祉的就労、半年を一般就労について取り組んできた。		
	② 部会長・副部会長の選任について 昨年度に引き続き、部会長は(NPO)じゃんぐるじむの竹内由美子さん、部会長の推薦により副部会長は名古屋学芸大学の草野圭一さんとなった。		
	③ 令和 3 年度の就労部会の振り返り(別紙 打合せ資料参照) ○事業所バスツアー…事業所見学の代わりに B 型事業所アロハに依頼し各事業所の説明動画を作成。視聴回数は伸び悩んだ。		
	④ 令和 4 年度の就労部会について(別紙 打合せ資料参照) ○愛知学院第 2 食堂後プロジェクトで水耕栽培をじゃんぐるじむが受けることになっていたが、2 月末の理事会で承認されず、開		

始が半年間延期となっている。

○就労説明会…毎年五月に開催。対象は障害がある(と思われる)お子さんで主に高校生。これから準備にかかるため、5月開催は難しい。高1対象とするならば、7月上旬までに開催が望ましい。コロナ禍で事業所見学が進んでいない方もいるので2・3年生にも呼びかければ参加の見込みがある。説明会は、コロナ禍ということもあるため、小さい会場で行うか動画で周知する方法が望ましい。昨年度撮影した映像もあるが、事業所によっては事業内容が大きく変更している所もあるため事務局から確認が必要。

○事業所見学バスツアー

事業所の受入れが難しく、実施は難しい。

⑤ 令和4年度の就労部会について(従来は5月実施)

○就学説明会

<意見>

・開催について、参加者が声を出さないなど特に制約が必要なければ市民会館の定員は通常通り(小ホール300人、展示ホール100人)。この就労説明会がコロナでできなくなってしまった時の当時の1年生が今の3年生。その3年生(保護者)が今慌てて動き出していると聞くと、やはり1年生の段階から対面でしっかり伝えることが大切かと思う。

・1年生だけだと障害者福祉センター大会議室で十分。門戸を広げるとなると、市民会館を活用する方がいい。

・周知をどこまでするのかによる。市広報誌のみなのか、市内大学等他のところにも周知先を広げていくのか、事務局がどこまでできるのかによってくる。

・保護者目線で1番情報を欲しているのは3年生?

⇒3年生は既に動いているので1年生。

・1年生を対象にしていることには経緯がある。定型発達の生徒と違い、実習に出る前に1か月間程度事前学習などの準備が必要になってくる。そういったことから5月に行ってきた。

・周知のこと、会場のことを考慮すると6月開催であれば開催可能。相談員がバタバタして大変になると思うが。この日程、会場で出来る内容のことをコアメンバーで詰めてもらえばいいのではないか?三好特別支援学校の井上先生の都合を考えると6/22(水)は学校が今のところ何もない。6/29(水)は他学部で授業参観があるなどしてバタバタしている。

⇒6/22(水)で(市民会館展示ホール)決定

・開催の時間帯は保護者が来ることができる時間帯。10:00～12:00。

・三好、港に声をかけて、盲・聾を対象としない理由が明確な理

	<p>由があるかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象（周知先）は高校1・2年生のみとするか対象を広げるかどうかについて事務局で今からできる限りの形で広報、周知を行っていく。⇒<u>学齢期から考えていく必要があるため、対象はしぼらない。</u> ・6/10（金）第2回就労部会で役割分担の確認などをしていく。 <p>⑥ その他</p> <p>○学用品&食品ゆずりあい(別紙チラシ参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワズパスが行っている学用品&食品ゆずりあい事業について、現在ボランティアでやっているが限界が来ている。保管する場所の問題、保管場所から会場まで運搬する部分の問題。これを市の事業にしていけないか。就労準備中の方たちにお願ひできないか。また、どこか事業所がこの事業を受けてくれないか。そういった事業所があれば手を放していきたいと考えている。今日お休みの部会員（事業所）にも周知していく。
<p>今回確認事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 前回の振り返り（企業交流会） ② 部会長・副部会長の選任について ③ 令和3年度の就労部会の振り返り ④ 令和4年度の就労部会について
<p>次回検討課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 就学説明会について ② 事業所見学バスツアー代替事業について
<p>次回開催日時</p>	<p>令和4年6月10日（金） 14時30分から</p>
<p>次回会場</p>	<p>日進市障害者福祉センター 大会議室</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	
日 時	令和 4 年 4 月 8 日（金）14 時 30 分 ～ 16 時 30 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員

① 千葉 大樹	⑨ 鈴木 英雄（欠席）
② 安藤 真希人（欠席）	⑩ 井上 亘
③ 今仲 良子（欠席）	⑪ 伊藤 優子
④ 水谷 公哉（欠席）	⑫ 巾 和志（欠席）
⑤ 古田 知子（欠席）	⑬ 草野 圭一
⑥ 春田 雄亮（欠席）	⑭ 竹内 由美子
⑦ 眞柄 文子	⑮ 幸村 朋子
⑧ 竹延 朋久	

（市職員）

① 野村 圭一	② 櫻木 順子
③ 島津 ありさ	④ 田中 領一

（事務局）

① 市川 英子	④ 直井 ゆうか
② 福田 有輝	⑤ 森 彩
③ 宮川 みどり	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森 彩	市確認欄	
専門部会名	第 2 回		
日 時	令和 4 年 6 月 10 日 (金) 14 時 30 分 ~16 時 10 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 4 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り ② 福祉的就労説明会について ③ 今年度の障害者雇用の促進のための活動について ④ 自立支援協議会本会について		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 前回の振り返り 議事録を用いて振り返り ・ 部会長・副部会長の選任について ・ 令和 3 年度就労部会の振り返り ・ 令和 4 年度の就労部会について → 就労説明会、事業所見学バスツアー ② 福祉的就労説明会について <決定事項> 申し込み状況(三好特別支援学校生徒の保護者 26 名+その他市内在住の保護者 17 名 合計 33 名) 開催場所が当初予定していた定員より少ない収容人数であることが分かり、場所の確保や実施方法などを模索している。 展示ホールは来場者 42 名、以降は 3 階大会議室にご案内しリモート中継する。カメラは発表者を映す。全室 ZOOM と iPad 設置。部会員は 3 階から視聴。役割分担は別紙参照。事前に保護者に聞いてみたい就労種別の希望を聞いている。三好特別支		

	<p>援学校のブースも設ける。事業所説明の際には、保護者からよく聞かれる質問内容を盛り込んで頂く。事業種別(生活介護・A型・B型・移行など)にフロアを分けて行う。開場後と休憩中に動画を流す。事業所の案内図を作成する。途中で帰ることも可。保護者が動くのではなく、会場を知っている事業所が1階と3階を移動する。</p> <p>③ 今年度の障害者雇用の促進のための活動について 昨年度の部会で挙げた各事業所が抱える課題から各自取り組む課題を選び、次回の部会で発案、検討する。</p> <p>④ 自立支援協議会本会について (7/19)別紙参照 各部会の昨年度の取り組みテーマについて部会長から発表予定。内容は別紙参照。就労部会の今年度のテーマは、①就労を見据えた学齢期からの支援②障害者雇用の促進。なお、企業交流会実施については検討中。 今年度の就労部会事業所見学バスツアーは中止になったが、子ども部会のバスツアーは10月実施予定。対象は小5～高1の障害のある(と思われる)お子さんの保護者。事業所の皆様におかれましては、依頼があればご協力をお願いしたい。</p>
<p>今回確認事項</p>	<p>① 前回の振り返り ② 福祉的就労説明会について ③ 今年度の障害者雇用の促進のための活動について ④ 自立支援協議会本会について(7/19)</p>
<p>次回検討課題</p>	<p>① 前回の振り返り ② 今年度の障害者雇用の促進のための活動について</p>
<p>次回開催日時</p>	<p>令和4年8月19日(金)14時30分から</p>
<p>次回会場</p>	<p>日進市障害者福祉センター 大会議室</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	
日 時	令和 4 年 6 月 10 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 10 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員

① 千葉 大樹	② 安藤 真希人（欠席）
③ 今仲 良子	④ 水谷 公哉
⑤ 古田 知子（欠席）	⑥ 春田 雄亮
⑦ 眞柄 文子	⑧ 竹延 朋久
⑨ 鈴木 英雄（欠席）	⑩ 井上 亘
⑪ 伊藤 優子（欠席）	⑫ 巾 和志
⑬ 草野 圭一	⑭ 竹内 由美子（欠席）
⑮ 幸村 朋子（欠席）	

（市職員）

① 野村 圭一	② 櫻木 順子
③ 島津 ありさ	④ 田中 領一

（事務局）

① 市川 英子	② 福田 有輝
③ 宮川 みどり	④ 直井 ゆうか
⑤ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森 彩	市確認欄	
専門部会名	第 3 回		
日 時	令和 4 年 8 月 19 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 30 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名	市職員 3 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 愛知障害者職業能力開発校 障害者職業訓練について ② 前回の振り返り ③ 福祉的就労説明会の振り返り ④ 今年度の障害者雇用の促進のための活動		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 愛知障害者職業能力開発校 障害者職業訓練について エリア担当 高須さんから別添資料を用いて説明 ② 前回の振り返り 議事録を用いて振り返り ・ 福祉的就労説明会について ・ 障害者雇用の促進のための活動について ・ 自立支援協議会本会について ③ 福祉的就労説明会の振り返り ・ アンケートを用いて振り返り ・ 近隣の専門学校、高校宛てに郵送でセンターのこと、就職の動画 のお知らせを送っている。 <意見> ・「時間が短かった」という意見が多かった。 ・後半の事業所説明会は、個別相談が長引くと待つ人が出てしま うので相談時間を延ばした方が良いと思う。		

- ・夏休み前に実施できたので、実習や見学に繋がりが良かった。
- ・アンケートで45人のうち市内中学11人は、参加が少ない気がする。
- ・コロナ禍で規模縮小からリモート利用して参加可能枠を広げることができ、保護者にとっても有意義な時間になったことが分かった。
- ・一般就労、福祉的就労のバランスが来年度の課題だと思う。
- ・小学生から高校生まで幅広い層の保護者が参加されていた。目的別に部屋を分けると良いと思う。
- ・事前に機材の確認をしていたが、当日、映像や音の不具合があった。
- ・小学2年生の保護者が来ていて関心の高さを感じた。今年度は、子ども部会でバスツアー実施予定。バスツアーについて、就労部会で前半実施、後半子ども部会での実施が毎年定例で開催できると良いと思う。
- ・来年度開催に向けて今年度中に日程と会場を抑えた方が良いと思う。
- ・目的別に部屋を分けると良いと思う(ex. 展示ホールで全体の説明、小ホールでブース設置し事業所説明など)。
- ・参加者には、事前にメールなどで動画を視聴してから参加してもらうように案内すると保護者もイメージ出来るので効率よく回れると思う。
- ・行政、センターブースがあると良いと思った。小中の特別支援学級の先生に全ての先生に意図が伝わっていない。

④ 今年度の障害者雇用の促進のための活動

- ・①～③の中から取り組みたいことや意見を挙げていただいた。(①事業所での困り事の検討②本人の困りごと③企業の雇用促進)
- ・本人目線の項目がない。当事者家族としては、移動の問題が大きいと思う。職に興味があってもそこまでいけない。障害福祉計画の中で「障害のある人が就労をするための支援」を部会で検討することになっていたがそのままになっている。移動支援を検討して就労に近づけることが出来ると良いと思う。
- ・ポレポレの場合、一般就労に繋がる利用者が少ない。昨年、一般就労出来た方は1人だった。今、利用者の中に一般就労したい方が1名いるが、どう繋げるか悩んでいる。一般就労を目指す方の課題は移動のこと。生活介護や就労継続支援B型の狭間にいる方もいて難しい。
- ・三好特別支援学校では、生徒に現場体験をさせてあげたいが、時間がないことや、コロナの影響で実習が決まりづらいことが

あり、実習先を見つけることが大変。また、半導体不足で仕事がないケースも多い。外国籍の生徒が増えて、家庭状況に合わせたマッチングに苦労している。

- ・企業の障害者達成率がどれくらいか分からない。企業の雇用促進も難しいのかなと思う。②が一番やりやすいと思う。
- ・ハローワークでは、障害者雇用率未達成は法律違反と言って勧めている。日進市内の企業は90%が障害者雇用の義務がない中小企業なので対象にはならないが、サポートデスクの活用を企業にお願いして求人について手伝えることお伝えしている。トライアル雇用、実習についても周知をしている。どれも大事だがあえて言うなら②。
- ・雇用率、就職希望者数、就職率を吸い上げて、就職に結びつかない原因を挙げると良いのでは。目標をたてて意見を出しながら進めると良いと思う。90%の小規模な会社で障害者が就職できる所があれば、市が企業に補助金を出す等のしかけがあると障害者雇用が促進されるのではないかと思う。
- ・就労部会でバスツアー、アンケートなどアプローチしてきたが、後に続かないことが課題だと思う。仕組化できると良い。移動支援で通勤をカバーするのは難しいので他に方法を考えないといけない。失業して仕事が見つからずひきこもりになるケースが増えてきている。例えば就労時間30分など、ハードルを低く出来ると良いと思う。グレーゾーンの相談も増えている。①～③全部大事だが、選ぶとすれば②。
- ・福祉的就労、一般就労①～③は複合的なので、1つに選ぶのは難しいが、一般企業への働きかけもできると良い。部会できつかけが作れるといいと思う。
- ・制度を作るためにも地道に積み重ねる必要があると思う。H29に商工会にアンケートし回答のあった11社に伺い、企業交流会を実施したが、その後繋がらなかった。企業へのアプローチを考える必要があると思う。
- ・求職者数、本人の困りごとなどニーズの洗い出しが出来ているのか疑問。関心が高いニーズに合わせて目標をたてて進める方がやりやすいと思う。
- ・日進市では、障害福祉計画の関係で3年に1回障害福祉サービス利用者を対象にアンケートをとっている。就労に関する設問の中で、収入を得る仕事をしたい人は45%であった。就職支援で必要としていることは、「職場の理解」「通勤手段の確保」「職場での介助が得られること」「就労後も相談できる」の順に多い。アンケートから大まかな傾向は出せると思う。ケアマネジメント部会で事例検討をしている。B型の利用者の事例の課題として長時間働けないことが挙がっていた。（「福祉に関するアンケ

	<p>「<u>一ト調査結果</u>」日進市の HP 参照)活用できると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の理解、通勤手段の確保、職場での介助が得られることの中から選んでも良いと思った。 ・アンケートの質問項目について、大枠は国からくるが、市独自に盛り込むことは可能。自立支援協議会に諮りながら設問を検討していく。 ・イベントを開催するとそれで時間がいっぱいになってしまう。企業を呼んで意見収集するのもありだと思う。 ・事務局としては、ライオンズクラブと部会と一緒に何かできればと思っていたが、今後の展開を考えてからの方が良いと思う。 ・企業の立場からすると、正直、障害者が戦力になるのかという不安があると思う。利用者の中には、休憩中に雑談するのが辛い、話しかけてもらえない等の、コミュニケーションで躓く。ある利用者さんは、8-12 時までの勤務にして休憩がなくなったことで続けられている。障害者の方ができることを企業側にもう少し伝えられると良いと思う。大府のある企業は、6 人健常者、20 人障害者で事業が上手くいっている事例もある。 ・企業の人も障害のことがわからず、ハードルが高く感じると思う。一緒に何かやってもらいながら知ってもらおう企画ができないか。 <p><決定事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の後半は、来年度の実動に向けて内容をつめる時間に充てた方が良いと思う。 ・アンケートと個別のケースから洗い出す。
<p>今回確認事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 愛知障害者職業能力開発校 障害者職業訓練について ② 前回の振り返り ③ 福祉的就労説明会の振り返り ④ 今年度の障害者雇用の促進のための活動
<p>次回検討課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 前回の振り返り ② 障害者雇用の促進のための活動について
<p>次回開催日時</p>	<p>令和 4 年 10 月 14 日 (金) 14 時 30 分から</p>
<p>次回会場</p>	<p>日進市障害者福祉センター 大会議室</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	
日 時	令和 4 年 8 月 19 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 30 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員

① 千葉 大樹	② 安藤 真希人（欠席）
③ 今仲 良子（欠席）	④ 水谷 公哉
⑤ 原 江利香（欠席）	⑥ 春田 雄亮（欠席）
⑦ 眞柄 文子	⑧ 竹延 朋久
⑨ 鈴木 英雄（欠席）	⑩ 井上 亘
⑪ 伊藤 優子（欠席）	⑫ 巾 和志（欠席）
⑬ 草野 圭一	⑭ 竹内 由美子
⑮ 幸村 朋子	

（市職員）

① 野村 圭一	② 櫻木 順子
③ 島津 ありさ	④ 田中 領一（欠席）

（事務局）

① 市川 英子	② 福田 有輝
③ 宮川 みどり	④ 直井 ゆうか
⑤ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森 彩	市確認欄	
専門部会名	第 4 回		
日 時	令和 4 年 10 月 14 日 (金) 14 時 30 分 ~16 時 30 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り ② 令和 5 年度福祉的就労説明会 & バスツアーの検討 ③ 今年度の障害者雇用の促進のための活動 ④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 前回の振り返り 議事録を用いて振り返り ・ 愛知障害者職業能力開発校 障害者職業訓練について ・ 前回の振り返り ・ 福祉的就労説明会の振り返り ・ 今年度の障害者雇用の促進のための活動 ② 令和 5 年度福祉的就労説明会 & バスツアーの検討 バスツアーは子ども部会が行っているものと対象や方法など重なる部分も多いため、①～④の中から取り組みたいことや意見を挙げていただいた。①これまで通りの方法で実施②特例子会社や障害のある方を多く雇用している企業③実際に障害者雇用している市内の企業を巡る(マックスバリュー、バロー、)④その他(ex.保護者への周知としてガイドブックのようなものを作成する) ・ 子ども部会のバスツアーの対象は、小 4～高 1 まで。コロナ前はお昼をはさみ、一日で周っていたが、現在はコロナの影響		

で今年は今前のみを2日間に分散して実施予定。就労継続支援A・B型、生活介護の3ヵ所を周る。定員近い申し込みがあった。見学時間は、1事業所20分ずつとタイトなスケジュールで詳しく見る時間はない。

<バスツアーについての意見>

- ・対象者の範囲をどうするか。福祉的就労説明会で事業所について知る、バスツアーで企業を知るという形で棲み分けされていて良いと思う。
- ・事業所バスツアーでは、名古屋市や尾張旭など、市外の幅広い地域の事業所を1日で見られるメリットがある。
- ・子ども部会のバスツアーの対象を高3まで対象にしてもらえないか。
- ・特別支援学校の中で、特例子会社と一般企業の就労に繋がる人は少なく1割程度と聞いている。豊田市内の企業が多く、日進近辺から就職する人は少ない。就職を主軸にすると説明内容のボリュームがかなり多くなる。学校側も障害者雇用の方法をよく知らないこともありなかなか上手くいかない現状がある。
- ・障害者雇用をしている企業があったとしても、障害者雇用の枠が少なく、入社を希望したとしても働ける数が限られている。障害者雇用で就職が決まった人は、豊田高等特別支援学校に通っていた人が多い。社会見学としていくのは良いと思うが、保護者の立場になって考えるとみんな働けると思ってしまうと後で苦しくなると思う。
- ・バスツアーの対象や目的をはっきりさせた方が良い。
- ・特別支援学校の生徒に限らず、定時制高校や通信制高校などに通う方の中で就労移行支援の利用者もいる。グレーゾーンの方も含めて考えられると良いのではないかな。
- ・不登校、手帳を持っていない子の中で大人になってから就職で躰く子もいる。
- ・バスツアーの良い点は、一人だと見学に足が向かない方も気軽に参加できること、同じ情報を1度で伝えられること。
- ・午前に福祉事業所を見学、午後は企業の見学をして1日で周るのはどうか。
- ・B型事業所を目指す際に、アセスメントを取るというハードルがあるため、小学校高学年から知る機会を作るのも必要だと思う。
- ・バスツアーで実際に企業を見ることで働くイメージが出来るので良いと思う。
- ・子ども部会と就労部会で一緒にバスツアーについて話し合っ

ても良いのではないか。

- ・福祉事業所のバスツアーを子ども部会で行い、企業のバスツアーを就労部会で行くのはどうか。
- ・就労の選択肢を広げるためにも企業へ見学に行く機会はある方がよいと思う。以前から一般の高校に通う子どもと比べると選択肢が少ないことが気になっていた。支援者が子どもの進路の筋道を立てすぎないことも大切だと思う。企業で働いてほしいという親の願いも少なからずあると思うので失くしてしまわない方がよい。バスツアーが気付きの場になると良いと思う。
- ・バスツアーで特例子会社への見学ができると良いと思う。事業所を2か所くらいに絞り、作業の体験が実際にできると深められて良いのではないか。
- ・事業所で体験を盛り込むのであれば、体験内容を明確にして保護者に判断してもらえると良いと思う。
- ・3年ぶりの開催になるので、例年通り開催するのも良いと思う。企業側が障害者雇用について説明するのはどうか。
- ・バスツアーで周ると、A型とB型で同じような作業をしても工賃は違って保護者は混乱する。保護者としては、お金の話が一番気になるところだと思う。
→バスツアーの中で雇成型・非雇成型の違いを含めた制度について説明することは必要だと思う。
- ・バスツアーは、高1~2年をメインターゲットにして事業所についての具体的な説明と選択肢を広げる意味もあった。

<福祉的就労説明会についての意見>

開催日：令和5年6月頃

場所：市民会館小ホールおよび展示ホール

- ・6月に福祉的就労説明会を開催し、バスツアーを開催するという流れは良いと思う。
- ・これまでは、アセスメント実習を念頭に置いて5~6月に説明会、6~7月にバスツアーを企画してきた。
- ・日進市のアセスメント実習は、特性を見極める意味合いがあり、必ずしもB型に行くためにあるわけではない。
- ・2年生までにバスツアーへの参加をしておいてもらえれば、説明会の開催時期は秋でも良いのではないか。
- ・福祉的就労説明会について進路指導なので、子ども部会でやった方が良いのではないかと以前から思っていた。
→バスツアー、特別支援教育コーディネーター研修、受診サポートカード、医療的ケア児について等検討課題が多く、子ども部会での実施は難しい。

- ③ 今年度の障害者雇用促進のための活動
(日進市福祉に関するアンケート調査結果報告書参照)
アンケート 33 ページ

【地域福祉課】

身体障害はハード面の割合が高く①通勤手段の確保②職場の障害への理解③勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮。精神障害は①職場の障害への理解②短時間勤務や勤務日数などの配慮③就労後の仕事に関する助言や相談の順。精神障害は、気分のムラ、朝弱い等、外から見て分かりにくい部分もあると思う。障害別に働きかけるヒントになると思う。

4 その他

- ・ 就労部会は、参加者が少ない。2 か月に 1 回しか部会がない。
→ 電子連絡帳があれば活用できるかもしれない。
→ 支援者が情報交換するためのもの。費用もすでに市が払っているのかからない。写真も送れる。時間関係なく使えるのがメリット。ネット環境は必要。会議と併用しているが、決めるのは会議で欠席者が増えることはなかった。テンポは速く議論は深まり良かった印象がある。
- ・ 部会の企画ごとに担当を決めるのも良いのでは？
- ・ 毎月やるのは、大変で 2 か月に 1 回とも聞いている。

事務局：話し合いの結果をまとめ、欠席者の意見をいただくための書類を送付することとなった。

【地域福祉課】

● 差別解消法講演会

令和 4 年 12 月 20 日(火) 市民会館小ホール
講師は田中弁護士。視覚障害ある方で、ジュネーブに行き、障害者権利条約のヒアリングで日本の状況を伝えている方。後日、イベントについて事務局にメールする。

今回確認事項	① 前回の振り返り ② 令和 5 年度福祉的就労説明会 & バスツアーの検討 ③ 今年度の障害者雇用の促進のための活動
次回検討課題	① 前回の振り返り ② 障害者雇用の促進のための活動について
次回開催日時	令和 4 年 12 月 9 日（金）14 時 30 分から
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	
日 時	令和 4 年 10 月 14 日 (金) 14 時 30 分 ~16 時 30 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員

① 千葉 大樹 (欠席)	② 安藤 真希人 (欠席)
③ 今仲 良子 (欠席)	④ 水谷 公哉 (欠席)
⑤ クルーサ NPO 法人オークン・チャレンジ (欠席)	⑥ 春田 雄亮 (欠席)
⑦ 眞柄 文子 (欠席)	⑧ 竹延 朋久
⑨ 鈴木 英雄 (欠席)	⑩ 井上 亘 (欠席)
⑪ 伊藤 優子 (欠席)	⑫ 巾 和志
⑬ 草野 圭一	⑭ 竹内 由美子
⑮ 幸村 朋子	

(市職員)

① 野村 圭一	② 櫻木 順子
③ 島津 ありさ	④ 田中 領一 (欠席)

(事務局)

① 市川 英子	② 福田 有輝
③ 宮川 みどり	④ 直井 ゆうか
⑤ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森 彩	市確認欄	
専門部会名	第 5 回		
日 時	令和 4 年 12 月 9 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 30 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6 名	市職員 4 名	事務局 3 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り ② アンケートの結果について ③ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 前回の振り返り 議事録を用いて振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度福祉的就労説明会&バスツアーの検討 ・ 今年度の障害者雇用促進のための活動 ② アンケートの結果について アンケート結果資料を用いて共有した後、令和 5 年度バスツアーと福祉的就労説明会について意見交換を行った。 【バスツアーについての意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・ H31 と同様が良いという意見が多い。対象は高校生だけでなく大学生も入れると良いという意見があるが、人数が増えて回数を増やせるのかとも思う。可能であれば対象を広げて良いと思う。 ・ 障害者雇用している企業の見学という意見もあった。 ・ 子ども部会のバスツアーと一緒に実施という意見が多い印象だが、子ども部会は検討課題が多く難しい。 		

- ・子ども部会のバスツアーは1日でA・B・生活介護を1日で周り知ってもらうきっかけ作りが目的。
- ・保護者の中には、積極的に見学していく方もいれば、仕事で多忙という理由等で全く見ない方もいる。もしバスツアー実施となれば保護者にも勧めたい。
- ・それぞれの保護者が興味のある時期に行けると良いと思う。
- ・映像で見るのと実際見るのとでは違うと思うのでぜひ見てもらえると良いと思う。
- ・他市在住の保護者の中には教員が高等部卒業後の就職先を見つけてくれると思っている方もいる。ギリギリで慌てなくていいように準備出来ると良いと思う。
- ・今年度相談ブースで保護者と事業所の関係ができて6人くらいポレポレハウスに見学に行かれた方がいると聞いている。
- ・小中高と年齢が上がるにつれて就労について広く知ることから始まり、どこかのタイミングでその方に合う事業所を具体的に絞り込む必要が出る時期がくると思う。
 - ・腰が重い方へのアプローチについて考える必要がある。
 - ・三好特支の方はだいたい相談員に繋がっているので安心してはいるが、自ら動く方かどうかは保護者による。
- ・企業見学のねらいは、①ご本人やその家族に障害者雇用について知ってもらう②企業側に当事者を知ってもらうこと。
- ・生活困窮の窓口に来られる方は、これまで福祉に関わりなく生きてこられた方がほとんど。企業で体験できると仕事を見つけやすくなるだろうと思うことはある。福祉に理解ある企業ばかりではない。
- ・対象と目的を明確にした方が良い。さらに企業側と保護者側の目的を分けること、タイミングも大切だと思う。
- ・障害者雇用を検討中の企業を対象に特別支援学校の見学を行うのも良いのではないか。
- ・企業も障害者のことが分からず困っているという印象。企業は、どちらかという受け身の印象。
- ・保護者が個人で企業見学を希望してもなかなか見られないことが多い。以前、三好特支で数台のバスで企業見学に行ったが、大人数で行くのはコロナ禍のため好まれていないようだった。
 - ・市内企業を保護者とご本人も一緒に見学出来ると良いと思う。
- ・相談に繋がっていない方を掘り起こしていくのは難しいと感じる。
- ・今まで説明会とバスツアーがセットだったが、今後どのようにしていくか考える必要がある。

- ・子ども部会のバスツアーもふまえて考えられると良いと思う。企業と交流できる機会を作るのは良いと思う。
- ・子ども部会にバスツアーを任せても良いのではないかな。
- ・対象を高校生以上に広げて良いのではないかな。ハローワークの就労アドバイザーに相談しても良いと思う。
- ・バスツアーを子ども部会で実施するのは良いと思う。
- ・企業に障害がある方のイメージを聞いて組み立てていくのも良いのではないかな。
- ・部会の流れを考えると上半期は保護者にアプローチし、下半期は企業に対してアプローチしているイメージ。企業に事業所や特別支援学校を見てもらうというのは良いと思った。子ども部会のバスツアーは10月に実施。内容は同じでも時期が違えば意味はあると思う。
- ・バスツアーでは、保護者、本人を対象に実際の現場を見てもらい交流できると良いと思う。子ども部会は小4～高1と対象の幅が広い。
- ・小学生の保護者から事業所の空き状況を聞かれることもある。
- ・就職先として一般就労と福祉的就労があるが一般就労に進む人は少なく、8～9割のが福祉的就労に進む。
- ・開催時期について、三好特支としては、夏前に必ずやってほしいというわけではない。実施日に合わせて保護者に案内できる。
- ・新たな事業の実施をしていこうと思うと今まで行ってきたことを止めることも必要だと思う。

<決定事項>

- ・事業所見学バスツアーは就労部会では実施せず。福祉的就労説明会を充実させる。

【就労説明会についての意見】

- ・説明会で事業所の見学予約を受付けると良いのではないかな。参加事業所も増えると思う。
- ・説明会で子ども部会のバスツアーも案内できると良いと思う。

<決定事項>

- ・令和5年6月8日(木)9時～ 市民会館、展示ホール
- ・AM講演(三好特支→神谷先生→市役所→センター→動画上映)
- ・PM(事業所ごとに2分ずつPR)→全体会→個別事業所説明会、相談員ブースも設ける。

	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食について、事業所が販売する。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回部会での検討内容について確認した。企業説明会、見学会の具体的な内容について検討する。 ・就労部会に事業所の参加がないことについて。日進市内の障害についての検討とご意見を頂く場であることを今一度伝えて出席を呼びかける必要があるのではないか。
今回確認事項	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② アンケートの結果について</p> <p>③ その他</p>
次回検討課題	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② 令和 5 年度福祉的就労説明会</p> <p>③ 企業見学バスツアーの検討</p> <p>④ その他</p>
次回開催日時	令和 5 年 2 月 9 日（金）14 時 30 分から
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	
日 時	令和 4 年 12 月 9 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 00 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員

① 千葉 大樹	② 安藤 真希人（欠席）
③ 今仲 良子（欠席）	④ 水谷 公哉（欠席）
⑤ クルーサ NPO 法人オークン・チャレンジ（欠席）	⑥ 春田 雄亮（欠席）
⑦ 眞柄 文子（欠席）	⑧ 竹延 朋久（欠席）
⑨ 鈴木 英雄（欠席）	⑩ 井上 亘
⑪ 伊藤 優子	⑫ 巾 和志（欠席）
⑬ 草野 圭一	⑭ 竹内 由美子
⑮ 幸村 朋子	

（市職員）

① 野村 圭一	② 櫻木 順子
③ 島津 ありさ	④ 田中 領一

（事務局）

① 市川 英子（欠席）	② 福田 有輝
③ 宮川 みどり	④ 直井 ゆうか（欠席）
⑤ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森 彩	市確認欄	
専門部会名	第 6 回		
日 時	令和 5 年 2 月 10 日 (金) 14 時 30 分 ~16 時 20 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 10 名	市職員 4 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (1 名 : リタリコワークス藤が丘 梅津さん) ・ なし		
報告・検討の内容	① 前回の振り返り ② 福祉的就労説明会(仮)について ③ 企業交流会について ④ 来年度にむけて		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 前回の振り返り 議事録を用いて振り返り ② 福祉的就労説明会(仮)について ・ 参加事業所は日進市内を中心に 28 ヲ所の事業所に依頼予定。 ・ レイアウトについて(販売エリアや相談エリアについて)レイアウトを当日替える時間はないため、固定したほうがいいのではないか。 ・ 展示ホールは前日午後と夜間から利用 OK。小ホールは当日のみ予約出来ている。 ・ 販売がありそうな事業所は、食品、雑貨などの販売も合わせて 11 ヲ所くらい。(事前に申し込み打合せする) ・ 各ブースは長机 1 本分のスペース ・ 事前に申し込み受付する。 ・ 参加者数は事前に事業所に伝える。		

【決定事項】

- ・昼食及び販売時間は12～13時。
- ・受付は廊下で行う。
- ・受付時間は決めず自由に出入りしていただく。
- ・販売商品は食品に限らず自主製品も含める。
- ・販売は展示ホール。小ホールは商品の展示は可だが販売はNGとする。
- ・飲食する場所は、展示ホールと小ホールの真ん中(椅子あり)
- ・実製品を相談ブースの机に置いてよい
- ・事業所に事前アンケートをして販売物などを確認して配置を決める。
- ・日進市障害者就労施設商品・作業カタログを置く。
- ・紹介ブースを設置するか
- ・販売数は事業所に委ねる。
- ・保護者に個人情報提供の同意を得て事業所に伝える。
- ・PRタイムはやめる。
- ・相談ブースを作る。
- ・チラシに物販はなくなり次第終了と入れる。
- ・問い合わせ時、申し込み時に、なるべく午前中から参加してほしいことを伝える。

【意見】

- ・受付を外に置きブースをそこから回れるよう左右に分けてはどうか。
- ・目的別にエリアを分けてはどうか。
- ・販売時間について、昼(12～13時)だけでなく通しで販売してはどうか。事業所が出せるスタッフの人数も限られている。相談中に買いたい人が来ることを考えると人員配置も考える必要がある。
- ・事業所の相談時間は午後からなので、午後からしか来ない事業所もあると思う。
- ・軽食であれば、机なしで椅子だけで良いのではないか。
- ・参加事業所向け事業所アンケートをしてはどうか。

<アンケート項目(案)>

- ・製品展示の有無
- ・前日準備の希望(物品の管理は事業所に任せる)
- ・準備に来られる日時
- ・人数
- ・次回の部会で役割分担を決める。

- ・参加者数が決まっていない状況で食品の販売数を決めるのは難しいと思う。
- ・事前に整理券を販売してはどうか。
- ・参加者に昼食の希望を聞いてはどうか。
- ・用意する食品の数について、なくなり次第終了にしてはどうか。
- ・保護者も事業所にも誤解がないように伝える必要があると思う。
- ・説明に関する留意事項を事前に教えてほしい。

<午後の時間について>

- ・ブースごとに保護者が自由に行き来できるようにしてはどうか。
- ・事業所のPRは時間がかかると思う。
- ・PR時間は、保護者が事業所の目星をつけて話が聞けるようにするためのものであった。
- ・保護者の中には、動画を事前に見てあたりをつけて参加される方もいると思う。必要な情報を早く聞きたいと思う。

- ・事業所について知るための相談ブースを作ってはどうか。早く相談支援に繋がられるメリットがあると思う。
- ・QRコード Youtube には市外の事業所は載っていない。
- ・保護者が途中から参加されても分かるパンフレット等が必要。
- ・相談員が困りごとを聞いて適した種別の事業所を紹介するという流れになる。
- ・相談ブースで話を聞くと話が長くなり、混雑するのではないか。
 - 話が長くなりそうな時は、後日お話を伺うという流れで良いと思う。
- ・タイトルの「高校卒業後」について。中学卒業後の方もいるのではないか。タイトル案「学校卒業後の進路を考える際の障害福祉サービス説明会」
- ・昼食は担当者も買って良いのか。事前に数を聞いて注文しても良いと思う。
- ・次回の部会でタイムスケジュール、役割分担表を確認する。

③ 企業交流会について

- ・目的は障害者雇用の促進。

	<ul style="list-style-type: none"> ・特例子会社の見学バスツアー。 ・障害者雇用を積極的に行っている企業を本人と家族が実際に見ること、障害者雇用を考えている企業が雇用のイメージを膨らませるために見学するという意見があった。 ・バスツアーで訪問する会社 →部会員が勉強のために周る or 保護者が周る →名工社に事務局が打診している。中央可鍛工業株式会社はどうか。 <p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーの日程について空いている日で実施する。 <p>④ 来年度にむけて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の日程について 毎月第2金曜日 14時半～16時 ※8月は祝日と重なるため 8/17(金)に振り替え
今回確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 前回の振り返り ② 令和5年度福祉的就労説明会(仮)について ③ 企業交流会について ④ 来年度に向けて
次回検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 前回の振り返り ② 令和5年度福祉的就労説明会(仮)について ③ 企業見学バスツアーの検討 ④ その他
次回開催日時	令和5年4月14日(金) 14時30分から
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 6 回	
日 時	令和 5 年 2 月 10 日（金） 14 時 30 分 ～16 時 20 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員

① 千葉 大樹	② 安藤 真希人（欠席）
③ 今仲 良子	④ 水谷 公哉（欠席）
⑤ クルーサ NPO 法人オークン・チャレンジ（欠席）	⑥ 春田 雄亮（欠席）
⑦ 眞柄 文子（欠席）	⑧ 竹延 朋久
⑨ 鈴木 英雄	⑩ 井上 亘
⑪ 伊藤 優子	⑫ 巾 和志
⑬ 草野 圭一	⑭ 竹内 由美子
⑮ 幸村 朋子	

（市職員）

① 野村 圭一	② 櫻木 順子
③ 島津 ありさ	④ 田中 領一

（事務局）

① 市川 英子)	② 福田 有輝
③ 宮川 みどり	④ 直井 ゆうか
⑤ 森 彩	